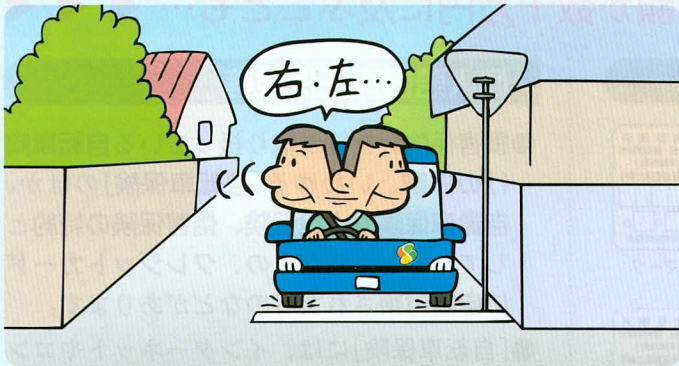


高齢ドライバーの皆さん

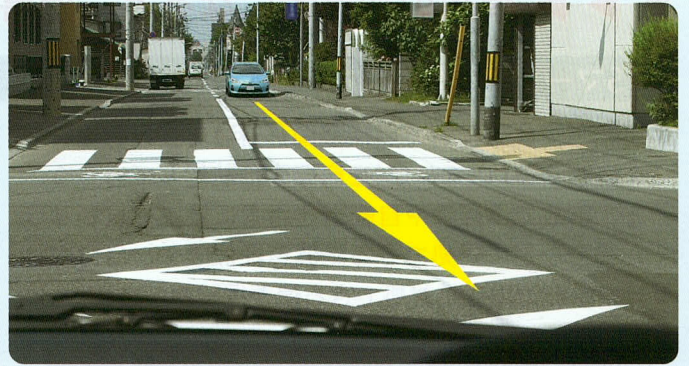
心身機能の低下を自覚して安全運転!

1 安全を確かめるときは、
意識的に顔全体を右左に向ける!



- 加齢に伴い、**視野が狭くなるなど視機能が低下**してくるため、目線だけを動かしてチラッと見るだけでは、他の車や歩行者などを見落とす危険性が高くなります。

2 「まだ大丈夫…」と思っても、
あわてて行動しない!



- 加齢に伴い、**他の車との距離を見誤る、判断してから行動するまでに時間がかかる**ようになるため、もう危険なタイミングなのに右折したり、交差点に進入したりしがちです。

3 他車(者)の動きを先読みして、
早め早めにブレーキを踏む!

- 加齢に伴い、**反射神経や脚力が低下**してくるため、いざという危険場面でブレーキングが遅れたり、ブレーキを強く踏めなかったりして安全に止まり切れず、他車(者)に衝突する危険性が高くなります。



薬や持病の影響により事故を起こす危険も…

- 薬のなかには、**副作用として眠気を催したり、注意力を低下させたりして、安全運転に悪影響を及ぼす**ものもあります。医師や薬局に薬の副作用を確認し、安全運転に支障のある薬を飲んだあとは、絶対に車を運転しないようにしましょう。
- また、車を運転中に病気の発作を起こしたり、意識を失ったりしたことによる重大事故も発生しています。特に高血圧や糖尿病、心臓病などの持病がある人は、**何となく体調が悪い…**というときは車の運転を控え、病院で診察を受けましょう。

